

カラートレンド

2016/17年秋冬



2015年9月にパリで開催されたプレミエールビジョンの展示会をもとに、**ready-made**のチームは、2016/17年秋冬シーズンに向けた最新のファブリックトレンドとカラーテーマに関するデータをまとめた。

トレンドは、鮮やかなオレンジや燃えるような赤、光沢のあるピンクから、ダークプラムまで、インパクトと表現力のある赤の色調に強く支配されている。これらの鮮やかな色が、燃え上がる森やパチパチと音を立てる暖炉を彷彿とさせる、暖かなブラウンの様々な色合いと組み合わされている。このテーマは、柔らかでふんわりとした毛糸のようなボリューム感や、さらにはウールを多く含む毛羽立った生地と最高の相性をみせる。モヘヤやアルパカなどを中心にした、ウールやビスコースの混紡素材も合うだろう。人工毛皮は、引き続き興味を惹くテーマだ。もはや、人工ものを“本毛皮の模倣品”と位置づけるのは不可能なレベルに到達している。

グレーがかかったパステルもまた、この冬重要な役割を担うだろう。薄いライトブルー、ペールグリーン、黄色味を帯びたクリームから、デリケートなオールドローズまで。鮮やかで繊細な冬の色調が持つ美しさを前面に引き出してくれる。これらの色を組み合わせると、品の良さと高級感を備えた外観を生み出すことができる。新しい刺激的なパレットと言えば、これらの色合いにダークグリーンの色調や暖かなブラウンやベネチアンレッドを組み合わせたものが挙げられる。

ジャカード（グラマラスなデザインやアンティーク調の鎧を生じさせた表面、沢山のクラシックなレースのパターンなど）、装飾用に刺繍を施したチュール、現代風のボリュー

ムときめの細かい透明感のあるシルクの組み合わせ。これらの生地が、歳月を経てこそ生まれる壮麗な空気をこのロマンティックなテーマに加える。

鮮やかなグレーの色調に、暖かなベージュ、クリアでナチュラルなグレー、白、シルバー、さらには青みがかったアントラシットや黒などとの組み合わせが、2016/17年秋冬のマストになるだろう。ターゲットとなるグループに合わせて、クリーンで快適なスタイリングや、ナチュラルでクールなルックを作り上げることができる。また、ラグジュアリーなハイエンドファッショングも選択肢に入り、これらの色はあらゆるコレクションで必須となるだろう。

ここに紹介したカラーパレットは、とりわけ近年ファブリック業界で重要な素材として成長した、接着素材の幅広いセレクションと良くマッチする。ここでは、コントラストを生むファブリックの要素が組み合わされる。可能性は無限で、生地同士のコントラストが強ければ強いほど、良い結果が期待できるだろう。滑らかな素材とウール、合成繊維と天然素材、ハードなものとソフトなもの。上品で滑らか、軽やかで華やか、この鮮やかなグレーの色調に視覚的なアクセントを与える機能的な風合い。それによって作り出される外観は、これらの要素に特徴づけられる傾向を持っている。

トレンド予報会社**ready-made**は、WeAr限定で未来のカラートレンドを開発している。これらのトレンドを詳しくお読みになりたい方は、**ready-made**のカラーブックがおすすめだ。www.wearglobalnetwork.com/publicationで購入可能。